

第3回草内地区認定こども園地元説明会議事録(要旨)

日 時	令和8年3月8日(日) 午前10時30分～午後2時20分
場 所	中央公民館第1研修室
出席者	事業者：社会福祉法人美樹和会 藤原理事長 (株) モーダアーキテクツ 村田建築士 タクミ建設(株) 山口代表取締役、亀坂氏 京田辺市：辻村副市長、小野建設部長、岡本副部長、 藤本都市整備課長、河本こども未来部長、内野副部長、 藤田保育幼稚園課長、釘本主幹、籬生係長、 吉田こども未来政策推進室係長
参加者	24名

- 1 あいさつ
辻村副市長からあいさつ
- 2 出席者紹介
藤田保育幼稚園課長から出席者紹介
- 3 草内地区認定こども園について
当日配布資料に基づき市から説明
- 4 主なご意見と回答

(1) 生活環境への影響について

- Q1. これまでの説明では、どのような建物が建つのか、どのような考え方で計画されているのかが十分に示されておらず、分かりにくいと感じます。
- A1. 説明や資料が十分でなかったことをお詫びします。
今後は、園舎配置や動線、安全対策の考え方も含め、分かりやすい資料を用いてお示ししていきます。
- Q2. 住宅地の中に205名規模のこども園が建設されることで、日常生活への影響が大きいのではないかと不安です。
- A2. 近隣の皆様の生活に影響があることは認識しています。
そのため、園舎配置や園庭の位置、防音対策など、生活環境への影響をできるだけ軽減できるよう検討していきます。

Q 3. 園庭や建物の配置、防音フェンスについて、どのような対策を考えているのですか。

A 3. 園舎は北側に配置し、南側に園庭を設ける計画です。

西側については防音機能を有するフェンスの設置を検討しており、南側についても植栽等を含めた対策を検討しています。

今後、見通しや圧迫感にも配慮しながら、周辺への影響を抑える方法を整理していきます。

Q 4. 園児の屋外活動や送迎によって、住宅地の中で人や車が集中することが心配です。

A 4. 一定の送迎車両や人の出入りが生じることは想定していますが、園の運営方法や動線の工夫により、周辺への影響を抑えるよう努めます。

また、保護者への周知やルールの徹底も含めて対応していきます。

(2) 工事車両や粉じん対策について

Q 5. 工事車両はどこから出入りするのですか。周辺道路は幅が狭い箇所もあり、住宅地側道路への影響は抑えられるのでしょうか。

A 5. 工事車両については、C の用地を進入路として活用し、東側道路から現場へ出入りする計画です。

西側及び北側の住宅地側道路は、基本的に工事車両が通行しないよう進めたいと考えています。

Q 6. 以前の造成工事では、事前の知らせが十分ないまま工事が進み、工事車両の通行について不安がありました。今回の工事では、工事車両の通行について、通学時間帯を避ける配慮はあるのでしょうか。

A 6. 原則として通学時間帯を避け、工事車両の通行は午前 8 時 30 分以降とする考えです。

また、必要に応じて警備員を配置し、安全確保に努めます。

Q 7. 工事関係車両だと分かる表示はされるのでしょうか。

A 7. 近隣の方が分かるよう、工事関係車両には表示を行う予定です。

Q 8. 粉じんや砂ぼこりへの対策はどのように考えていますか。

A 8. 板囲いやメッシュシートを設置し、飛散防止に努めます。

また、必要に応じて散水等を行い、粉じん対策を講じていきます。

Q 9. 騒音や振動について、測定や確認は行うのでしょうか。

A 9. 北側や西側を中心に、騒音計・振動計を設置する方向で考えています。

Q 10. C の部分を工事車両の待機場所や通路として使うことについて、近隣への周知は行うのでしょうか。

A 10. 工事開始前には、工事内容や車両動線を周知したいと考えています。特に近隣の方には、必要な説明を行う方向で検討しています。

(3) 施設整備の考え方について

Q 11. なぜ既存の草内幼稚園やその周辺ではなく、住宅地の中のこの場所が整備地として選ばれたのでしょうか。

A 11. 草内保育所の一部園舎には耐震上の課題があり、また保育ニーズの高まりを受けて、0歳から5歳までを一体的に受け入れる認定こども園として整備する必要があると判断しました。

一方、草内幼稚園周辺は市街化調整区域に位置しており、区域拡大しての建て替えが難しい状況です。

そのため、市街化区域内で一定規模の敷地を確保できる場所として、現在地となったものです。

Q 12. 駐車場の位置が変わったのであれば、園舎の配置や出入口も含めて計画全体を見直すべきではないでしょうか。

A 12. 駐車場の位置変更に伴い、外構や動線については見直しが必要であると考えています。

一方で、園舎本体については既に設計や手続が進んでいることから、配置を大きく変更することは難しい状況です。

そのため、出入口や駐輪場、動線などの工夫により、安全性を高める方法を検討していきます。

Q 13. どのような園舎で、どのような運営を考えているのか、もっと分かるように示してほしいです。

A 13. 園舎の概要や保育の考え方について、これまで十分にお示しできていなかったことを反省しています。

今後は、建物の概要や動線、安全対策などが分かる資料を整え、改めてお示ししていきます。

(4) 交通安全対策について

Q 1 4. 園の周辺道路や交差点が危険だと感じています。道路幅や見通しに加え、事故が多いとの指摘もあり、安全対策はどのように考えているのでしょうか。

A 1 4. 交差点や周辺道路の危険性については認識しています。

そのため、カーブミラーの設置やグリーンベルトの整備など、可能な策を進める考えです。

あわせて、道路管理者や警察とも調整しながら安全確保に努めます。

Q 1 5. 工事中はどのような交通安全対策を行うのでしょうか。

A 1 5. 必要な箇所に警備員を配置し、工事車両の誘導を行います。

特に東側交差点付近は危険が想定されるため、重点的に対策を講じたいと考えています。

Q 1 6. 完成後も、A の西側交差点付近に人や自転車が集中するのではないかと心配です。

A 1 6. 送迎用駐車場を B'側に移すことに加え、出入口や駐輪場の位置、動線についても改めて見直し、安全性を高めるよう検討していきます。

Q 1 7. 歩道が十分でない道路や、道路幅が狭い箇所もありますが、完成後の安全対策はどのように考えていますか。

A 1 7. 北側及び西側道路については、グリーンベルトの整備等を行い、歩行空間の視認性を高める方向で考えています。

また、必要な安全対策について引き続き検討します。

Q 1 8. 送迎車両の台数に対して、駐車場台数は十分なのでしょうか。渋滞や滞留が起きないか心配です。

A 1 8. 現在、35 台超の駐車台数を確保する方向で調整しています。

既存園の実態も踏まえた想定ではありますが、送迎時間帯の集中や滞在時間については、さらに整理が必要と認識しています。

必要に応じて園庭部分の活用も含め、柔軟に対応を検討していきます。

Q 1 9. 送迎時の車の流れや、どの程度の滞在時間を想定しているのか、シミュレーションが必要ではないでしょうか。

A 1 9. 送迎時間帯の交通の流れについては、既存園の実態も踏まえながら整理していく必要があると考えています。

駐車台数や送迎動線、滞在時間の想定についても検討していきます。

(5) 運営体制や安全面について

Q 2 0. 205 名の施設ですが、現在の敷地や建物計画で十分に対応できるのでしょうか。

A 2 0. 定員 205 名を前提に、必要な施設規模や面積を満たす計画として進めています。

一方で、実際の運営や送迎動線については、より丁寧な検討が必要とのご意見も受けていますので、今後の計画に反映していきます。

Q 2 1. 乳児を 2 階に配置する計画とのことですが、避難や保護者の送迎の面で問題はないのでしょうか。

A 2 1. 計画は、既存園での運営実績や園庭の活用方法を踏まえたものです。

また、避難については訓練の実績や避難経路を踏まえ、安全に対応できるよう計画しています。

ただし、動線等については、ご意見も踏まえて検討を深めていきます。

Q 2 2. 災害時や火災時の避難は安全に行えるのでしょうか。

A 2 2. 複数の避難経路を確保した上で、訓練を行いながら対応することを考えています。

既存園での実績も踏まえ、安全に避難できる体制を整えていきます。

Q 2 3. 園の運営開始後、騒音や交通、安全面で問題が生じた場合は、どこに相談すればよいのでしょうか。

A 2 3. 開園後の課題については、まず事業者にご連絡いただくことになります。

あわせて、市としても必要に応じて連携しながら対応していきます。

(6) 計画の進め方について

Q 2 4. これまでの進め方は、用地取得や造成工事の段階も含め、住民への説明や情報提供が不十分だったのではないのでしょうか。造成工事についても、事前の知らせが十分ないまま進んだと感じています。

A 2 4. 用地取得後、これまでの説明や情報提供が十分でなかったことは、深く反省しています。

また、造成工事に関する周知や説明会資料、周知方法についても不十分な点があったと受け止めています。

今後は、適切な時期に必要な情報を分かりやすくお伝えできるよう改善

していきます。

Q 2 5. 説明会の資料やホームページでの周知が分かりにくく、住民に十分伝わっていないのではないですか。

A 2 5. 周知方法やホームページの掲載場所が分かりにくかったことは課題であると認識しています。

今後は、改善を図っていきます。

Q 2 6. 近隣住民や高齢の方など、説明会に来られない方への説明も必要ではないでしょうか。

A 2 6. 今後、近隣の方への個別周知や説明方法等についても検討していきます。

Q 2 7. 計画や資料が十分に整理されていない段階で、工事だけ先に進めるべきではないのではないのでしょうか。

A 2 7. いただいたご意見を踏まえ、必要な資料や対策を整理した上で、改めてお示します。

Q 2 8. 令和 9 年 4 月開園ありきで進めるのではなく、必要であればスケジュール自体を見直すべきではないのでしょうか。

A 2 8. 市としては令和 9 年 4 月開園を目標に進めています。

一方で、いただいたご意見も重く受け止めており、必要な説明や安全対策を行いながら進めていきます。

Q 2 9. 今後、どのような形で計画の修正内容や安全対策を示してもらえるのでしょうか。

A 2 9. いただいたご意見を踏まえ、動線や出入口、安全対策などを整理した資料を改めてお示ししたいと考えています。

工事着手前には、最終的な対応内容が分かるようお知らせします。

以上